



# 京都で景観を学ぶ

2024年7月開講!

「景観」を体系的に理解する  
全8回のカリキュラム

基礎理論 1

基礎理論 2

景観と都市形成

まちとまちなみ

公共空間のデザイン

京の生活文化

自然資源と観光資源の活用

景観まちづくり

# 3つの柱で 景観とまちづくりを学びます



## POINT 01

### 景観を守り続けるまち、京都で 景観と人、文化のつながりを学ぶ

京都景観エリアマネジメント講座の基礎講座では、「景観とは何か」という基礎理論を学びます。本講座の最大の特徴は、学びのバラエティの豊かさ。京都のまちの特性、歴史、建築・土木、ランドスケープ、ビジネス、法律、政策など、さまざまな観点から景観を読み解くスキルを身につけられます。普段は簡単には受けられない各分野のプロフェッショナルの講義が一度に受けられるのは、全国でも本講座だけ。全13回の講義をとおして奥行きのある知識を身につけましょう。



## POINT 02

### さまざまな専門性をもった 仲間たちとの交流

実習科目では数人のチームにわかれ、景観の専門家のサポートを受けながら課題に取り組みます。講座に集まる受講生は、建築、不動産、行政関係、法律、商業など、分野もさまざま。講座の受講をきっかけに受講生同士の交流を深めることも本講座の大きな魅力です。学生や、京都の景観が好きの方、文化や歴史に興味がある方も多く受講されています。予備知識はまったく必要ありません。皆さんでいっしょにゼロからスタートを切りましょう！



## POINT 03

### 実践講座に進んで 京都景観エリアマネージャーを目指す

基礎講座を受講された方は、身につけた力をいかしていくための手法を学ぶ「実践講座」の受講が可能となります\*1。基礎講座・実践講座の両講座を修了すると「京都景観エリアマネージャー」としての認定を受けられ、地域の景観まちづくり活動や京都景観フォーラムのプロジェクトに参加できます。また講座が修了したあとの交流の機会を持つ場として、「エリマネット」という活動のネットワークを設けています。エリマネットでは、まち歩きやフィールドワーク、研修会などのイベントでスキルアップをはかるとともに、それぞれの分野で活躍する修了生同士の交流を深めています。講座で学んだことをいかし、京都景観エリアマネージャーとしての活躍を目指してみませんか？

\*1 実践講座の受講には、規定回数(全科目の半分)以上の基礎講座の受講が必要となります。

まずは  
ここから！

基礎講座

実践講座

京都景観エリアマネージャー

地域主体の景観まちづくり活動への参加

- ・景観まちづくりのコーディネーター
- ・地域の景観についてアドバイス
- ・プロジェクトチームを組んで景観まちづくりをサポート

#### こんな方々が受講しています

- ・景観やまちづくりについての基礎を学び、仕事にいかしたい行政関係者・建築業・不動産業などの方  
(本講座は建築士会のCPDプログラムとして認定されています)
- ・建築や都市計画、社会学などを学ぶ学生の方
- ・自身の経験や知識を活かして景観まちづくり活動に取り組んでみたい方
- ・京都のまちが好きな方、京都の歴史や文化に興味がある方

#### 受講実績 (2024年3月現在)

基礎講座受講者数： **325** 名 (通年受講のみ、単回受講者を除く)  
実践講座受講者数： **137** 名  
京都景観エリアマネージャー登録者数： **76** 名

本講座の講義科目は建築士会のCPDプログラムに認定されています。各講義の所要時間により単位数(1~4単位)が設定されており、全講義科目の受講で計28単位が取得できます。

# 2024年度 基礎講座カリキュラム

講義科目

実習科目

※実習科目は通年受講者のみ対象

		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19〔時〕
第1回	7月20日(土) 10:00~16:30 基礎理論 1	<講義> 10:00~16:30		(昼休憩)							
第2回	8月31日(土) 10:00~16:30 基礎理論 2	<Workshop1> 10:00~14:30 まちのことを調べてみよう		(昼休憩)			<講義> 14:30~16:30				
第3回	9月28日(土) 10:00~16:30 景観と都市形成	<講義> 10:00~12:00		(昼休憩)	<Fieldwork> 13:00~16:30 景観視点でまちを見てみよう						
第4回	10月19日(土) 10:00~17:30 まちとまちなみ	<Workshop2> 10:00~14:00 まちの景観特性を考えよう		(昼休憩)		<講義①> 14:15~15:45		<講義②> 16:00~17:30			
第5回	11月16日(土) 10:00~16:30 公共空間のデザイン	<Workshop3> 10:00~14:30 私が京都景観エリアマネージャーになったら…		(昼休憩)	<講義> 14:30~16:30						
第6回	12月21日(土) 13:00~18:30 京の生活文化 <small>※開始時刻が他の回と異なります</small>					<講義①> 13:00~15:00		<講義②> 15:00~17:00		<講義③> 17:00~18:30	
第7回	2025年1月25日(土) 10:00~17:00 自然資源と観光資源の活用	<講義①> 10:00~12:00		(昼休憩)	<講義②> 13:00~15:00		<講義③> 15:00~17:00				
第8回	2025年2月15日(土) 14:00~17:00 景観まちづくり <small>※開始時刻が他の回と異なります</small>					<講義> 14:00~16:00		修了式			

## 講義 + 実習で叶える充実の学び。



さまざまな出会いが  
待っています!

### ワークショップ

意見を出し合い協力し、  
体験しながら、学びや  
気づきが得られます

講座やフィールドワークで得た知  
見をもとに自ら考えたり発信した  
りするため、そのテーマについて  
理解を深めることができます。



### フィールドワーク

座学や書物では出会えない  
情報に触れることができます

「景観」をテーマに京都のまち歩き  
を行います。自分の五感を使って  
新しい知見を集めることができ、  
刺激や発見が得られます。



### 懇親会

講師や学ぶ仲間との  
交流の機会

各回の講義の後、自由参加の懇親  
会が開かれています。講師が参加  
されることもあります。自由な意見  
交換、交流の場として好評です。

※懇親会参加費は別途



# 「景観」をさまざまな視点から解き明かす 多彩な講義内容・講師陣

景観理論から景観まちづくり、京の文化まで、豊かな目線を養う 13の講義

<p>第1回 7月20日(土) 10:00~16:30 基礎理論 1</p>	 <p>(一社)まちの魅力づくり研究室理事 東京大学名誉教授 堀 繁 氏</p>	<p>「景観」を学ぶ—景観の善し悪しは人次第だろうか？ 景観の基礎理論に加え、講師が手がけた事例から、「景観とは何か、なぜ景観は重要か」「良い景観とはどういうことか」「景観を良くするにはどうしたらよいか」などを、1日を通し丁寧かつ論理的に解き明かします。</p> <p>講師プロフィール 東京大学教授を経て、平成30年より現職。国土審議会の専門委員の他、全国自治体の景観審議会会長などを歴任。研究テーマは景観、観光、地域活性化など。</p>
<p>第2回 8月31日(土) 10:00~16:30 基礎理論 2</p>	 <p>関西国際大学教授 京都府立大学名誉教授 宗田 好史 氏</p>	<p>コミュニティの未来—これからの景観マネジメント 京都の景観をコントロールしてきた制度、取り組みを振り返るとともに、それを支えてきた地域コミュニティの変遷と現状を読み解きます。本来の自治を獲得できなかった京都のコミュニティのこの先を考えます。</p> <p>講師プロフィール ピサ大学、ローマ大学大学院にて都市・地域計画学専攻。国際連合職員を経て、京都府立大学教授・副学長を歴任。研究テーマは歴史的都市の保存・再生・景観計画、市民参加のまちづくりなど。</p>
<p>第3回 9月28日(土) 10:00~16:30 景観と都市形成</p>	 <p>京都大学大学院教授 中嶋 節子 氏</p>	<p>近代の京都と景観—歴史から「京都らしい景観とは何か」を考える 京都のアイデンティティとして発見された景観は、社会的、経済的、文化的なプログラムとして創造、継承、変容してきました。人の営みを通じた京都のまちの変遷から、歴史都市の景観に対する視座を高めます。</p> <p>講師プロフィール 一級建築士。京都大学大学院人間・環境学研究科教授。専門は近代都市史・建築史。都市空間と景観をめぐる歴史を建築、自然、居住の視点から研究。</p>
<p>第4回 10月19日(土) 10:00~17:30 まちとまちなみ</p>	 <p>京都美術工芸大学教授 森重 幸子 氏</p>	<p>現代の社会における京都のまちと住まい—京都の町家や路地をどう活かすのか 社会の動きや制度の変遷の中で失われつつある現代の住まいとしての町家や路地について考えます。また京都市都心部の細街路沿いのまちづくり活動や生活空間としての再生手法など、実例を交えて解説します。</p> <p>講師プロフィール 一級建築士。(株)設計組織アモルフ、設計事務所主宰を経て現職。京都市美観風致審議会委員など。「五条坂なかかわ路地(袋路長屋再生)」の設計に携わる。町家と路地に関する研究に取り組む。</p>
<p>第5回 11月16日(土) 10:00~16:30 公共空間のデザイン</p>	 <p>魚谷繁礼建築研究所代表 京都工芸繊維大学特任教授 魚谷 繁礼 氏</p>	<p>歴史都市における地域計画と建築計画—歴史都市で何をいかに継承するか 都市や地域を歩いているなかで出逢う多様な空間はどのようにして生成され、変容するにいたったのか。その構造の変容を京都の旧市街や国内外の歴史都市に見ながら、何をいかに継承するべきかを考えます。</p> <p>講師プロフィール 京都大学などで非常勤講師。2021年『コンテナ町家』で日本建築家協会新人賞、2023年『郭巨山会所』で日本建築学会賞(作品)。</p>
<p>第6回 11月16日(土) 10:00~16:30 公共空間のデザイン</p>	 <p>京都大学大学院准教授 山口 敬太 氏</p>	<p>公共空間のデザインと多主体協働のまちづくり 景観形成や地域づくりにおいて、公共空間の活用・管理・整備のあり方、公民の連携や多様な主体の関わりは重要な課題です。公共空間のデザインや多主体協働のまちづくりの考え方、具体的なプロセスや方法について、国内外の事例を通じて学びます。</p> <p>講師プロフィール 地域の歴史・文化、風土・景観を解読し、まちづくりや空間デザインに生かす方法論を研究。京都市や大阪市をはじめ、各地の道路・公園・水辺等の公共空間のデザインやまちづくりに関わる。</p>

第6回  
12月21日(土) 13:00~18:30  
京の生活文化



京都芸術大学准教授  
町田 香氏

生活文化と日本庭園—庭園と景観との関わりを考える

人々の生活と庭園との関わりや、庭園と景観との関わりなどを、歴史的な庭園を事例に紹介します。「眺望」「借景」「景観」などのキーワードから日本庭園を概観しつつ、庭園での文化的営みについて解説します。

講師プロフィール

国際日本文化研究センター機関研究員を経て現職。京都芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター研究員、京都先端科学大学非常勤講師などを兼任。日本庭園史研究、文化財庭園の調査などに携わる。



京都産業大学准教授  
マレス エマニュエル氏

現場の声—日本庭園史と日仏庭園文化交流の話を交えて

金閣寺や銀閣寺、龍安寺などのような名園は過去に作られたもので、私たちの日常生活から完全に切り離されているようです。現場に耳を傾け、今も変化し続けている日本庭園と景観について考えます。

講師プロフィール

フランス出身。京都工芸繊維大学大学院博士後期課程修了。総合地球環境学研究所、奈良文化財研究所の研究員などを経て現職。専門は日本庭園史。



華道「末生流笹岡」家元  
笹岡 隆甫氏

伝統文化から受け継ぐ美意識

いけばなとは何か?作品やいけばなパフォーマンスの事例をもとに、建築や庭園との共通点を挙げながら、いけばなのデザイン論及びその背景にある哲学を解説します。

講師プロフィール

京都ノートルダム女子大学客員教授。京都大学工学部建築学科卒業。2011年、三代家元を継承。2016年には、G7伊勢志摩サミットの会場装花を担当。

第7回  
2025年  
1月25日(土) 10:00~17:00  
自然資源と  
観光資源の活用



京都大学大学院准教授  
深町 加津枝氏

京都の自然を活かした景観マネジメント—嵐山を事例に景観マネジメントを考える

森や水辺などの豊かな自然は、庭園の「借景」に見られるように京都の景観の重要な構成要素となっています。その特徴や近年の課題を踏まえながら、景観マネジメントにつなぐためのポイントを学びます。

講師プロフィール

農林水産省森林総合研究所研究員、京都府立大学人間環境学部環境デザイン学科助教授を経て現職。研究テーマは里山における生物文化多様性、文化的景観の保全・活用など。



文化庁 文化財調査官  
村上 佳代氏

文化財を活かした観光まちづくり—文化観光推進の意義を理解する

未指定のものも含めた地域の文化財を観光資源として活用することで、多様な価値感の共有が図れるとともに、保全・活用に関する経済的好循環を生み出すこともできます。これらを全国の事例をもとに考えていきます。

講師プロフィール

観光開発におけるJICA専門家、北海道大学観光学高等研究センター特任助教を経て現職。文化庁初の観光専門職として、多言語化やユニークベニューなどの文化財の活用に従事。



龍谷大学教授  
阿部 大輔氏

観光再生における景観マネジメント—都市デザインから見たオーバーツーリズムとは

今、再び問題となっているオーバーツーリズム。京都と、バルセロナ、ヴェネチア、アムステルダム、ベルリンなどの教訓を踏まえつつ、観光都市京都の「暮らし」を保全・更新するための景観マネジメントを考えます。

講師プロフィール

バルセロナ自治大学(UAB)政治・公共政策研究センター(IGOP)客員研究員を経て現職。専門は都市計画・都市デザイン。歴史的観光都市におけるオーバーツーリズム対策などに取り組む。

第8回  
2025年  
2月15日(土) 14:00~17:00  
景観まちづくり



京都美術工芸大学副学長  
京都大学名誉教授  
高田 光雄氏

景観政策における「まちづくりアプローチ」—まちなかの景観形成と地域コミュニティ

新景観政策以前から展開していた京都におけるまちづくりアプローチ。まちの成り立ちや地域コミュニティを基本原理から解き明かし、その現代的意義を再確認するとともに今後の進むべき道を展望します。

講師プロフィール

博士(工学)、一級建築士。都市住宅学会会長、京都市景観まちづくりセンター理事長などを兼務。日本建築学会賞、都市住宅学会賞など受賞多数。専門は建築計画学、居住空間学。



大学から飛び出して  
学びの場をもつ

実践講座 第12期修了生  
京都景観エリアマネージャー  
丸さん

申し込んだのは大学2年生の時でした。この講座は**1回で終わりではなく、連続して景観を体系的に学べる**点に惹かれました。ワークショップでは4~5人のグループに分かれ、あるエリアを実際に歩き、景観について各自の視点で話し合いました。**大学は同世代ばかりですが、ここでは年代や専門性がみんな違うので、新しい着眼点がたくさん見つかりました。**自身の興味や関心を深めるのもいいですが、ぜひ、この機会に**「景観」や「まちづくり」について立ち止まって考えてみませんか。**きっと、これまで見ていなかったことに気づく有意義な経験になると思います。



同じ関心を持つ  
仲間たちと出会えました

実践講座 第10期修了生  
京都景観エリアマネージャー  
Wさん

「**良い景観、美しい景観とは何だろう**」という疑問を長らく持ち続けていましたが、**ずっともやもやしていた「そもそも『景観』とは何か?」**ということを明確に教えていただき、**気持ちがスッキリしました。**受講するまでは景観についてひとりで考えていましたが、講座に行くことによって、**受講生とのコミュニケーションを通してさまざまな考え方を知り、自分なりの視点がさらにブラッシュアップ**されました。京都のまちや景観、まちづくりについて少しでも興味をお持ちの方には、ぜひ受講をおすすめします。講座やワークショップで知識・経験を得るだけでなく、**同じ関心を持つ仲間との出会いがあります。**



景観を学びに  
京都に通う楽しさ

基礎講座 第14期修了生  
中村さん  
(鹿児島市から受講)

**歴史と伝統・文化、美しい景観にあふれる京都で「景観」を学べる**ことに魅力を感じ、住んでいる場所から毎月、京都に通って受講していました。すべての講義が有意義で素晴らしいものでしたが、「景観」そのものを論理的に学べる初回の講義は必須で学ぶべきだと感じました。これを理解したことで、その後の講義の理解がより深まったように思います。また、華道やお茶の世界観も学べるのも面白かったところです。**超豪華な講師の方々の生の声を聞くことで、本だけでは絶対に体験できない貴重な学びを得ることができました。**

会場 京都市景観・まちづくりセンター

ひと・まち交流館 B1 階ワークショップルーム  
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1

【バス】市バス4,17,205号系統「河原町正面」下車すぐ  
【電車】地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分 / 京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分

定員 40名 (定員に達し次第締め切り)

※各回の講座のテーマや内容は変更されることがあります。

受講料 通年受講：全13講義・ワークショップ3回／フィールドワーク1回

※出席できなかった回は次年度、無料で受講できます。

一般 48,000円 / NPO会員 43,000円 (年会費3,000円で新規会員登録可)

単講義受講：講義科目に限りお好きな講義を選んで受講できます。(実習科目への参加はできません)

1講義あたり 4,000円 (第1回の講義のみ6,000円)

**学割** 学生 (大学院、大学、専門学校など) は**半額**で受講できます!



お申込みはこちらから!  
お申込み専用フォーム



お申込み専用フォームをご利用いただけない方はメールにて右記の内容をお送りください。

メール送付先:  
kkf@kyotokeikan.org

- ① 氏名・よみがな
- ② 住所(郵便番号から)
- ③ 電話番号
- ④ メールアドレス
- ⑤ ご所属(勤務先、学校名など) ※学生の方はその旨ご記載ください
- ⑥ 通年受講 or 単講義受講(単講義受講の場合は受講を希望する講師名)
- ⑦ NPO会員(新規入会) or NPO会員(継続) or 非会員  
※NPO会員となるには年会費3,000円が必要です。

※通年受講の方は7月1日までに指定の口座に受講料をお振り込みください(口座はお申し込み後にお知らせいたします)。  
単講義受講の方は講座受講当日に受講料をお持ちください。